



Broaden your horizons²⁰ ~さぁ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。早いものでもう1年が終わろうとしています。師走になると「今年の漢字」なるものが発表されますね。ちなみに、今年の漢字には『暑』が選ばれました。私も社長になってから、今年の漢字を考えるようになりました。2007年は起業した年でしたので『起(たつ)』でした。08年は教室が溢れるほど学生が集まってくれたり、NPO法人を立ち上げ心理カウンセラー講座を開講したり、ビジネスアワード最優秀企業に選ばれたりしたので『勢(いきおい)』でした。09年は高田馬場に東京校を開校し、次世代の薬剤師を創る会を立ち上げ、薬剤師養成支援体制を築き上げたので『礎(いしずえ)』でした。

10年の今年は……『革(あらたまる)』でしょうか。6年制薬学部の1期生が初めて5回生となり、実習が始まり皆さんの元に行きました。まさに薬学教育が変革し、私たち薬剤師も意識改革が必要になってきました。そう、「薬学革命」の年です。

大きなキャンパスに絵を描くとき、手元ばかりを見ていて上手く描けるでしょうか? 時に全体を見て、時に細かく手元を見て、また客観的に全体を見ます。大作になるほどそうではないでしょうか。今、私たち薬剤師は薬剤師の理想の姿を描くため、社会という大きなキャンパスに筆を入れました。この絵を素晴らしい絵にするためには手元ばかりを見てはいけません。社会全体を客観的に見て、また手元を詳細に見ることが必要です。手元だけを見て描いたのでは、全体に合うよう上から塗りつぶされてしまうのです。全体から、ここにどんな色彩を加えればよいのかを見る必要があります。そのためには、絵全体の秘めたるお題、共通項を感じる必要があります。それは経済です。そして手元を見る際に周囲になじむよう描こうとしなければいけません。それはカウンセリング能力(コミュニケーション能力)です。それらを分かった上で大胆に手元に筆を入れます。自信を持って描かなければ、心に訴えることはできません。

さぁ、一緒に理想の薬剤師像を社会のキャンパスいっぱい描きましょう。私たちは薬学革命の時代に生まれた者として志を高く持ち、素晴らしい絵にするために、さぁ視野を拡げて、Broaden your horizons!

追伸: 薬剤師キュービー創りました。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子